

# つばきっこ通信



今年**寅年**！寅(虎)といえば、  
勇ましく**獍猛**という印象が強いですね。  
虎の様に**勢い**がある年になりますよう、  
虎が登場する本をご紹介します。

# 虎

## 虎文学(?)といえば『山月記』！ だと思う

唐代の中国、秀才と謳われた李徴は役人になるが出世できず、詩の名手にもなれない。こんなはずではなかったと悶々と悩むだけで、人との関りも避ける日々が彼を獣へ変えてしまうのだった。

### 『山月記・名人伝ほか』

中島敦／著 筑摩書房《B913.6/ナ》

\*\*\*\*\*

秀才で自尊心が高い李徴は出世も思うように行かず、詩の名声も得られず孤立してゆく。妻子を残しつつには虎になってしまう李徴。読む者の心に刻まれる、こじらせ男子の異端物語。

### 『虎と月』

柳広司／著 文藝春秋《B913.6/ヤ》

\*\*\*\*\*

なぜ父は虎になったのだろうか。いつかはほくも虎になってしまうのか？『山月記』をベースに描かれた、李徴の息子が父の謎を追う冒険譚。『山月記』とセットで読むことをお勧めしたい。

### 「中島敦が怖い」

(『本取り虫』群ようこ／著 筑摩書房《B914.6/ム》より)

高校時代、『山月記』は格調高い荘嚴な金屏風だった。今改めて読むと虎にならざるを得なかった理由が分かると著者は語る。中島敦を読み直したくなる。

## 虎がモチーフの作品

虎がスパイスになったりします

### 『ジョゼと虎と魚たち』

田辺聖子／[著]  
角川書店《B913.6/タ》

\*\*\*\*\*

足が不自由で勝気なジョゼと心優しい大学生恒夫のロマンス。

動物園で一番怖い動物の虎を恒夫と見たがったジョゼ。その訳は…。

振り回される恋愛も悪くない、かも。

※『ちびくろ・サンボ』や『トラのバターのパンケーキ』(ヘレン・バンナーマンの絵本です)

### 「二階の虎の絵」

(『月とコーヒー』)  
吉田篤弘／著 徳間書店《913.6/ヨ》より)

\*\*\*\*\*

〈中山先生〉というお店で評判の(たまごのケーキ)には秘密がある。どうやら見えない虎が鍵を握っているようだ。ケーキに虎、個人的にはあの物語※を思い出してしまう。

## 虎のような武将

戦国時代のヒーローは、虎が似合います

### 『虎の牙』 武川佑／著 講談社《913.6/タ》

\*\*\*\*\*

武田信玄の父・信虎のために忠心を尽くしたアケヨと清胤(きよたね)の生き様を描く。「虎」の名を持つ武将は格好いい。

ことわざ

## 虎の諺も色々

「口は虎、舌は剣」言い方次第で人を傷つけ自分の身を滅ぼすことになるから、注意しよう。「猫にもなれば虎にもなる」位、柔軟な自分でいたい。本気で欲しい時は「虎穴に入らずんば虎子を得ず」位の気概で！

(参考:『十二支(えと)のことわざ事典』)

加藤迪男／編 日本地域社会研究所《480.4/I》より)

季刊 36号(2022年1月)

指定管理者：株式会社ヴィアックス

発行：所沢図書館 椿峰分館

〒359-1145 埼玉県所沢市山口5267 ☎04-2924-8041



# スタッフのオススメ本 紹介コーナー



## 『覇権帝国の世界史』

佐藤賢一／著 PHP 研究所 《B209/オ》

この本の特筆すべきは着眼点が非常に面白いことだ。例えば、アレクサンドロス大王が世界征服を目指したきっかけは父フィリッポスⅡ世に対してのコンプレックスから来る「衝動」であった。また、ローマ帝国が領土を拡大出来たのはキリスト教が各地で普及していたからだ。砂漠が多いイスラム世界での生計手段は略奪によるもので、十字軍の遠征はローマ教皇の思い込みから始まったなど。決して教科書では知ることの出来ない歴史の出来事の裏側が軽妙に綴られている。

著者は西洋史を題材にした小説を数多く世に送り続けている佐藤賢一氏。著者が掲げた着眼点「ひとつに向けられている歴史(ユニヴァーサル・ヒストリー)」がそれぞれ歴史の中でその後世界にどのような影響を与えたのか、ぜひ手にとって読んでいただきたい。

## 『オロロ畑でつかまえて』

荻原浩／著 集英社 《B913.6/オ》

この作品は 2016 年に『海の見える理髪店』で第 155 回直木三十五賞受賞をした荻原浩さんのデビュー作になります。

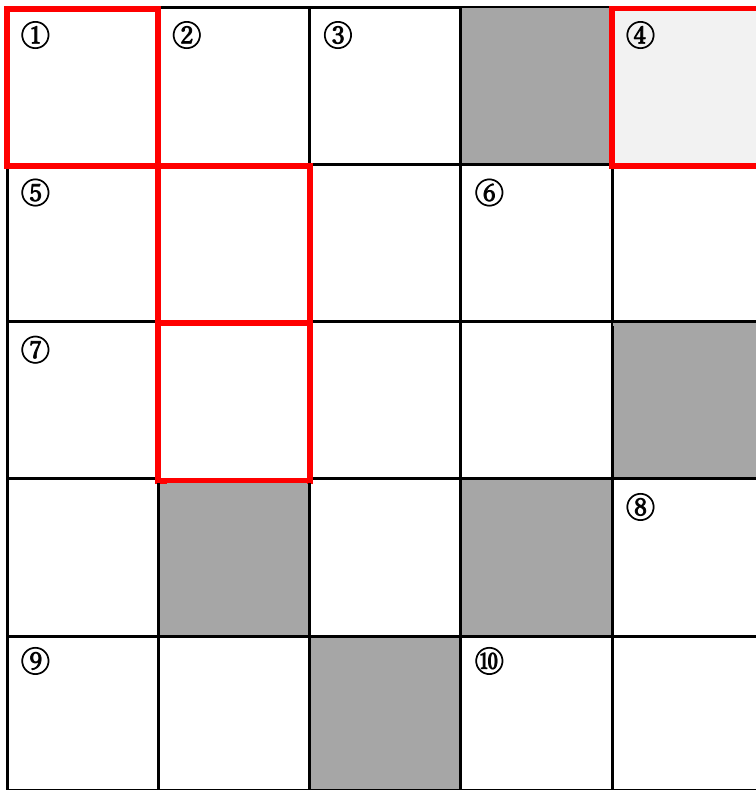
人口 300 人というとても小さな村の青年団と都会の倒産寸前の広告代理店が村おこしのための企画を立案して、一緒にバタバタと実行していくというストーリーです。物語の各所に笑えるポイントが散りばめられており、クスクスと笑いながらページをどんどんめくってしまいます。また、登場する青年団や広告代理店の人物像は大変個性豊かで、この物語に引き込まれる要素となっております。

物語の最初から最後まで楽しんで読み進められるこの作品を読んで、笑えるひと時を過ごしてみませんか？荻原浩さんといえばミステリー小説と思っている方も多いかもしれませんが、このように笑いに溢れたユーモア小説もおすすめの一冊です。



# クロスワードパズルに挑戦!

#2




キーワード



下記の問題に答えて空欄を埋めましょう。すべて解いたら赤で囲まれた文字を組み合わせてキーワードを導き出してみましょう。ぜひ、わからなかった問題は図書館で調べてみてください。

注意:問題の「○」には全てひらがな表記で当てはまります。漢字のものはひらがなに直してみましょう。

- ①横 本屋大賞や「埼玉の高校図書館司書が選んだイチオシ本」にも輝いた小説は、辻村深月の『○○○の孤城』
- ⑤横 主に和歌の前に置かれ語調を整え情緒を引き出す「枕詞」の内、「母」に添えられる枕詞は?(5文字)
- ⑦横 国民的アニメの少年とアライグマの赤ちゃんとの物語。原作は『はるかなるわが○○○○』
- ⑨横 堀辰雄の生と死をテーマにした小説は、『○○子』 ヒント:映画『風立ちぬ』のヒロインと同じ名前です
- ⑩横 島中恵のしゃばけシリーズ第8弾は『ころ○○ろ』

- ①縦 荒木源の『ちょんまげプリン』にはプリンが登場します。では、スペインでプリンを作る際に失敗がきっかけで生まれたお菓子の名前は?(5文字) ヒント:イタリアのクレームブリュレに似ています
- ②縦 半藤一利の妻で夏目漱石の孫でもある半藤未利子のエッセイは、『○○○戸のうちそと』
- ③縦 佐藤正午の直木賞受賞作品は、『月の○○○○』
- ④縦 片山恭一の、スティーブ・ジョブズの栄光と苦悩を綴った作品は『○○日、ジョブズは』
- ⑥縦 同じ言葉が入ります。所沢図書館所蔵の雑誌「リン○○」「クウ○○」
- ⑧縦 元食品開発研究者である小薮浩二郎による、食品業界の闇に切り込んだ作品は『○○い濁流』

答えは2月中旬頃に入口付近の掲示コーナーにて張り出します。  
また、4月発行予定の次号にも掲載いたします。(前回35号のキーワードは「ばかす」でした!)

# 椿峰分館のイベント・お知らせ(1月～3月)

## 新春おたのしみ会

**1月15日(土)午前10時30分から**  
 対象：小学生から 先着10名  
 申込：1月5日(水)から  
 椿峰分館カウンターまたはお電話にて  
 場所：椿峰コミュニティ会館別館 和室  
 冬のおはなしや手あそびうた、  
 たのしい工作をします！  
 《椿峰コミュニティ会館別館 共催》

## 影絵であそぼう!!

**2月5日(土)午後2時から**  
 対象：小学生から 先着10名  
 影絵クイズや手作りの影絵劇、  
 ミニ影絵工作であそびます♪

## 大人の朗読会

**3月5日(土)午後3時から(30分程)**  
 定員：6名(事前申込み)  
 短編やエッセイなどを朗読  
 いたします。  
 ご参加をお待ちしています。

## ジュエルキャンドルを作ろう

**3月9日(水)午後2時から3時**  
 定員：8名(事前申込み)  
 場所：山口まちづくりセンター2階 料理講習室  
 ゆらめくキャンドルと  
 コースターを手作りします♪

## ぬいぐるみおとまり会

**3月19日(土)午前10時から12時**  
**3月20日(日)午前10時から12時**  
 おむかえ  
 対象：小学生以下 15名(事前申込み)  
 お子さんの大切なぬいぐるみを  
 椿峰分館におとまりさせてみませんか。

※イベントの詳細は、開催が近づきましたら館内でお知らせします。  
 また、感染対策を行い実施を予定しておりますが、感染状況を考慮し  
 日程の変更もしくは中止となる場合がございます。  
 予めご了承ください。

### 図書整理期間(蔵書点検)による休館のお知らせ

**分館の休館：2/21(月)～2/25(金)** (本館：2/22(火)～2/25(金)は開館)  
 蔵書点検は、資料が正しい場所にあるかどうか現状を確認する大事な作業です。  
 ご理解とご協力をお願いいたします。

## 図書館クイズ

図書館に関連した事柄をクイズにして出題します。これが分かれば図書館を利用する際に役立つはず!

**問題①**  
 図書館で、本を本棚に並べることを何というでしょうか。  
 A 排架 B 配架

### 問題②

本棚から本を取るやり方は?  
 A 背の上部に指をかけて取る  
 B 背の上を少し奥へ押し、下に飛び出た部分を掴む

### 【正解】

① 「A」

『排』は「一定の順序で連ねる」  
 『配』は「並べる」意味です。図書館の本は日本十進分類法に基づき棚(架)へ排列しますので、Aを使うことが多いです。  
 ② 「B」

Aのやり方は、背の上部を傷めやすいです。下の方から取り出すといいですね。